

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	団員報酬・出勤費			
担当課係名	環境防災課	生活環境係	作成者	加藤隆政
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ
	基本計画	消防体制の充実と消防団の育成強化		
	主要施策	市消防団の組織強化		86
予算費目	一般会計	9款 消防費	1項 消防費	2目 非常備消防費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市消防団の設置に関する条例/仙北市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	消防団員
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	消防団員の充実及び団員の育成
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	消防訓練大会の開催、被服の貸与、報酬等の支払い

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	消防団員数	人	641	635	
	成果指標	火災件数	件	14	12	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			52,089	44,028	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		52,089	44,028	
	人件費(B)			6,282	6,457	
		職員数		0.8	0.8	
		職員平均人件費		7,853	8,071	
(A) + (B) 投下コスト			58,371	50,485		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			91,062	79,504	
	市民1人当たりのコスト(円)			1,830	1,608	

【事務事業の今までの成果】

若者の入団者が減少しているが、災害発生時には率先して出動してくれている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	近年、女性消防団員を採用している自治体も増えている
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	市民の防災(消防団)に対する期待は非常に高い

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	組織として消防団は重要である
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	消防団員は災害発生時に地域住民の生命や財産を守るための重要な役割を担っており、引き続き組織の強化を図る必要があると考える。

